

食品ロスの削減について

消費者庁消費者教育推進課
食品ロス削減推進室

食品ロスの現状及び制度など

食品ロスをめぐる現状

我が国の食品ロスの状況

- 食品ロス量は年間**600万トン**（平成30年度推計）≡国連世界食糧計画（WFP）による食料援助量（約420万トン）の1.4倍
- 毎日大型（10トン）トラック約**1,640台分**を廃棄
- 年間1人当たりの食品ロス量は**47kg** →年間1人当たりの米の消費量（約54kg）に近い量

<日本>

食料を海外からの輸入に大きく依存

- ・食料自給率（カロリーベース）は**38%**
（農林水産省「食料需給表（令和元年度）」）



廃棄物の処理に多額のコストを投入

- ・市町村及び特別地方公共団体が一般廃棄物の処理に要する経費は**約2.1兆円/年**
（環境省「一般廃棄物の排出及び処理状況等について（平成30年度）」）

食料の家計負担は大きい

- ・食料が消費支出の**1/4以上**を占めている
（総務省「家計調査（2020年）」）

深刻な子どもの貧困

- ・子どもの貧困は、**7人に1人**と依然として高水準
（厚生労働省「2019年 国民生活基礎調査」）

<世界>

世界の食料廃棄の状況

- ・食料廃棄量は年間**約13億トン**
- ・人の消費のために生産された食料のおよそ1/3を廃棄
（国連食糧農業機関（FAO）「世界の食料ロスと食料廃棄（2011年）」）



世界の人口は急増

- ・2019年は約77億人、2050年には**約97億人**と予測
（国連「World Population Prospects The 2019」）

深刻な飢えや栄養不良

- ・飢えや栄養で苦しんでいる人々は**約8億人**
- ・5歳未満の発育阻害は**約1.5億人**
（国連食糧農業機関（FAO）
「the STATE OF FOOD SECURITY AND NUTRITION IN THE WORLD（2019）」）

- 「食品ロス」 = 本来食べられるのに捨てられる食品
- 我が国の食品廃棄物等※¹は年間2,531万トン、
うち食品ロスは600万トン※²
 - ・ 国連世界食糧計画（WFP）による食料援助量※³（約420万トン）の1.4倍
- 食品ロスの内訳
 - ✓ 事業系： **324万トン**（54%）
 - ✓ 家庭系： **276万トン**（46%）
- 食品ロスの約半分は家庭から

※1 飼料等として有価で取引されるものや、脱水等による減量分を含む

※2 平成30年度推計（農林水産省・環境省）

※3 国連世界食糧計画（World Food Programme: WFP）2019年実績

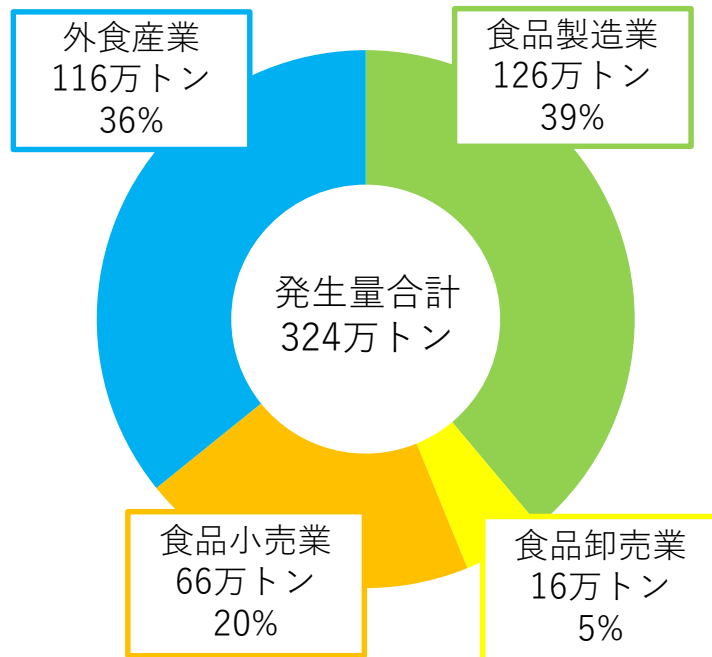
〈食品ロス（推計）の経年変化〉

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
食品ロス量	642万トン	632万トン	621万トン	646万トン	643万トン	612万トン	600万トン
国民1人当たり 換算	50 kg	50 kg	49 kg	51 kg	51 kg	48 kg	47 kg

発生要因（内訳）

事業系食品ロス（可食部）の業種別内訳

（平成30年度・農林水産省推計）



製造・卸・小売事業者

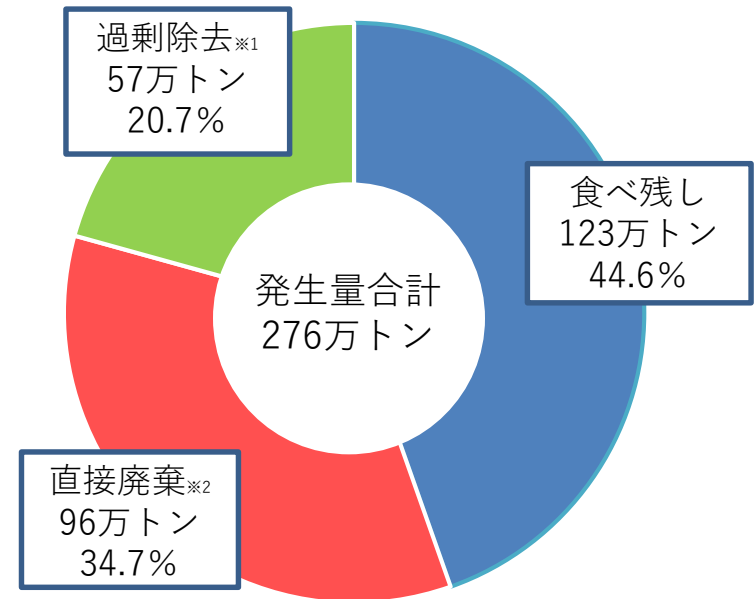
○製造・流通・調理の過程で発生する規格外品、返品、売れ残りなど

外食事業者

○作り過ぎ、食べ残しなど

家庭系食品ロスの内訳

（平成30年度・環境省推計）

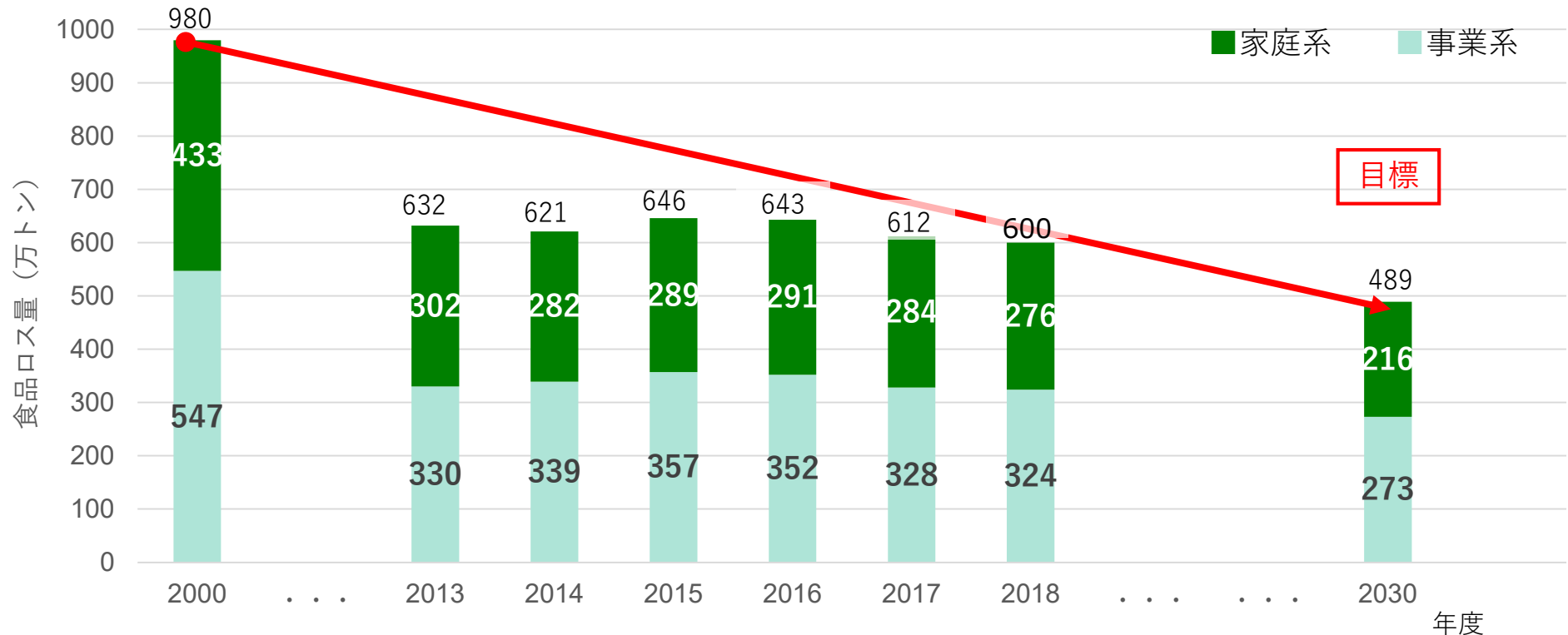


※1：野菜の皮を厚くむき過ぎるなど、食べられる部分が捨てられている

※2：未開封の食品が食べずに捨てられている

食品ロス量の推移と削減目標

2030年度に、2000年度と比べ、家庭系食品ロス量、事業系食品ロス量いずれも半減できるように取組を推進。



年度	2000		2013	2014	2015	2016	2017	2018		2030
家庭系	433		302	282	289	291	284	276		216
事業系	547		330	339	357	352	328	324		273
合計	980		632	621	646	643	612	600		489

「食品ロスの削減の推進に関する法律」

(令和元年法律第19号)

多様な主体が連携し、国民運動として食品ロスの削減を推進

【法律の内容】

- 国・地方公共団体・事業者の責務、消費者の役割、関係者相互の連携協力
- 食品廃棄物の発生抑制等に関する施策における食品ロスの削減の推進
- 食品ロス削減月間
- 基本方針
 - 政府は、食品ロスの削減の推進に関する基本方針を策定（← 令和2年3月31日閣議決定）
 - 都道府県・市町村は、基本方針を踏まえ、食品ロス削減推進計画を策定
- 基本的施策
 - ① 消費者、事業者等に対する教育・学習の振興、知識の普及・啓発等
 - ② 食品関連事業者等の取組に対する支援
 - ③ 食品ロスの削減に関し顕著な功績がある者に対する表彰
 - ④ 食品ロスの実態調査、食品ロスの効果的な削減方法等に関する調査研究
 - ⑤ 食品ロスの削減についての先進的な取組等の情報の収集・提供
 - ⑥ フードバンク活動の支援、フードバンク活動のための食品の提供等に伴って生ずる責任の在り方に関する調査・検討
- 内閣府に食品ロス削減推進会議（会長：内閣府特命担当大臣（消費者及び食品安全））を設置

食品ロスの削減の推進に関する基本的な方針

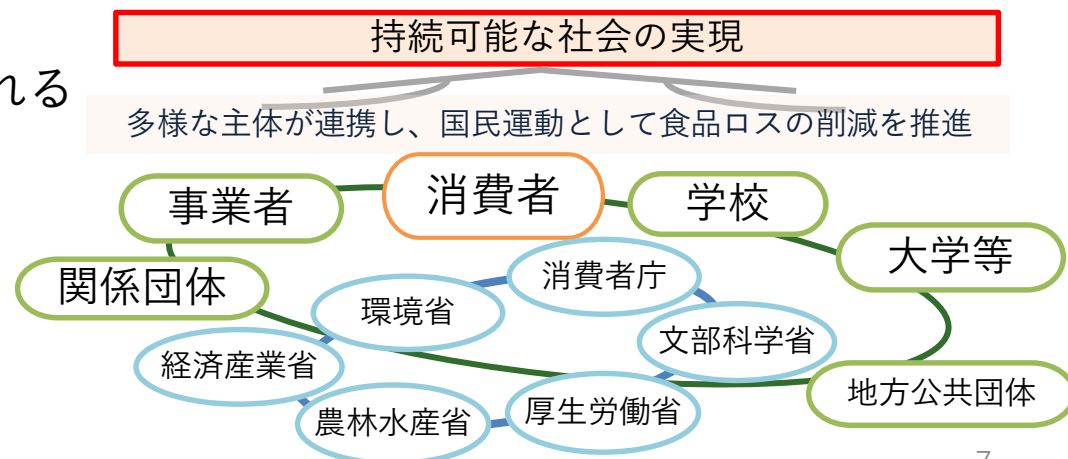
(令和2年3月31日閣議決定)

「食品ロスの削減の推進に関する法律」の規定に基づき、行政、事業者、消費者等の取組の指針となるものとして策定

食品ロス削減推進の基本的な方向

国民各層が食品ロスの問題を「他人事」ではなく「我が事」として捉え、「理解」するだけにとどまらず「行動」に移すことが必要。

- 食べ物を無駄にしない意識を持ち、
- 食品ロス削減の必要性について認識した上で、
- 生産、製造、販売の各段階及び家庭での買物、保存、調理の各段階において、食品ロスが発生していることや、
- 消費者、事業者等、それぞれに期待される役割と具体的行動を理解し、
- 可能なものから具体的な行動に移す



食品ロスの削減の推進において消費者、食品の生産・製造・販売等に関わる事業者等に求められる役割と行動

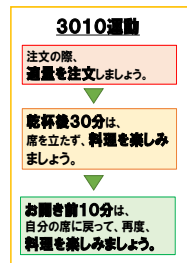
各々の主体がそれぞれの立場で、食品ロスの問題を「他人事」ではなく、『我が事』として捉え、行動に移すことを促進。

《消費者》

日々の生活の中でできることを一人一人が考え、行動に移す。

例)

- ・ 買物の前に家にある食材をチェック。
- ・ 定期的な冷蔵庫内の在庫管理。
- ・ 食卓に上げる料理は食べきれぬ量に。
- ・ 外食時は食べきれぬ量を注文、宴会時の3010運動等の実践、残った場合は自己責任の範囲で持ち帰り。



《農林漁業者・食品関連事業者》

事業活動による食品ロスを把握、商慣習を含め見直しに取り組む。

例)

- ・ 規格外や未利用の農林水産物の有効活用。
- ・ 賞味期限表示の大括り化、賞味期限の延長、納品期限（3分の1ルール）の緩和。
- ・ 季節商品（恵方巻きなど）の予約販売等。
- ・ 値引き・ポイント付与等による売り切り。
- ・ 外食での小盛りメニュー等の導入。
- ・ 持ち帰りへの対応。



〔恵方巻きのロス削減プロジェクトの目印〕



〔小盛りメニュー等の導入〕

《国・地方公共団体》

消費者等への普及啓発、食品関連事業者等の取組への支援、情報の収集・提供、未利用食品を提供するための活動の支援等を実施。

例)

- ・ 食品ロス削減の施策の推進。
- ・ 災害時用備蓄食品の有効活用。
- ・ 主催イベントでの食品ロスの削減。

都道府県及び市町村は、地域の特性を踏まえた取組を推進するため、「食品ロス削減推進計画」を策定（努力義務）。
国は、計画策定を促進。



〔期限切れの災害用備蓄食品の提供〕



〔食品ロス削減全国大会〕

削減目標等

- 家庭系食品ロス、事業系食品ロスともに、2000年度比で2030年度までに食品ロス量を半減
- 食品ロス問題を認知して削減に取り組む消費者の割合：80%

食品ロスの削減に向けた政府の体制

食品ロス削減関係省庁連絡会議

消費者、事業者等に対する教育・学習の振興、知識の普及・啓発等

食品関連事業者等の取組に対する支援

顕著な功績がある者に対する表彰

環境省

消費者庁

文部科学省

相互の緊密な
連携・協力

経済産業省

厚生労働省

農林水産省

実態調査、効果的な削減方法等に関する調査研究

先進的な取組等の情報の収集・提供

フードバンク活動の支援、
フードバンク活動のための
食品の提供等に伴って生ず
る責任の在り方に関する調
査・検討

食品ロス削減推進会議

- ・ 構成員：関係大臣、有識者（業界団体、地方公共団体、学識経験者 など）
（会長：内閣府特命担当大臣（消費者及び食品安全））
- ・ 食品ロスの削減の推進に関する基本方針の案の作成等を行う

具体的な取組の事例

消費者向け啓発用リーフレットの作成・配布

食品ロスを減らしましょう

あなたも1日でお茶碗約1杯分の
食べものを無駄にしているかも?!



令和元年10月1日「食品ロスの削減の推進に関する法律」施行

本法は、食品ロスの削減に関し、国、地方公共団体等の責務等を明らかにするとともに、基本方針の策定その他の食品ロスの削減に関する施策の基本となる事項を定めること等により、食品ロスの削減を総合的に推進することを目的としています。

日本では、本来食べられるのに捨てられる食品、いわゆる「食品ロス」が年間600万トン以上発生しています。毎日、(大型10トン)トラック約1,760台分の食品を廃棄している計算です。

消費者庁では、食品ロスを減らすための様々な情報を発信しています。

詳しくは、消費者庁
ウェブサイトをご覧ください。



食品関連事業者も、過剰在庫や返品等によって発生する食品ロスの削減に向けて動き出しています。消費者の皆様も、食品ロスの削減に向けてご協力をお願いします。

今日から実践! 食品ロス削減 家庭編

「必要な量だけ購入」して
「食べきる」ことが削減のポイントです。

買物

事前に冷蔵庫内などをチェック

▶ メモ書きや携帯・スマホで撮影した画像が有効

買物は使う分だけ

▶ 使う・食べられる量を購入しましょう。

手前に陳列されている食品をチョイス

▶ 家庭での利用予定に照らして期限表示を確認しましょう。



保存

最適な保存場所に

▶ 保存方法に従って最適な場所に保存

まとめて下処理

▶ 冷凍・乾燥・塩蔵などでストック

ローリングストック

▶ 期限の長い食品を奥に、近い食品を手前に



調理

残っている食材から使う

▶ 「いつか食べる」食品は食品ロス予備軍

食べきれぬ量を作る

▶ 体調や健康にも配慮

食材を上手に食べきる

▶ 定期的に冷蔵庫や収納庫を整理する日を決める

(例: 毎月●日はあるものでお好み焼きデー)



もし、食べきれなかった場合は、他の料理に作り替えるなど、献立や調理方法を工夫しましょう。詳しくはQRコードへ

クックパッド消費者庁のキッチン(公式ページ)



ご家庭からの食品ロスを計量し、記録するだけでも気付きが得られます。まずは一週間、記録してみましょう。記録様式がダウンロードできます。



私の食品ロス削減チャレンジ (チャレンジする行動目標を書いてみましょう)

10月食品ロス削減月間における取組の推進

令和元年10月1日施行された食品ロス削減推進法で、10月は「食品ロス削減月間」、10月30日は「食品ロス削減の日」と定められました。

消費者庁、農林水産省、環境省は共に、食品ロス削減月間の周知及び取組の啓発を行いました。

〈令和元年度版ポスター〉



〈令和2年度版ポスター〉



令和2年度版は、全国の地方公共団体に配付

webサイトにおける情報提供

消費者庁ウェブサイト



ホーム

消費者庁 食品ロス

検索

[食品ロス削減]食べ物のムダをなくそうプロジェクト

更新情報	食品ロス削減推進法	知る・学ぶ	事例を見る	パンフレット等
取組	会議等	食品ロス削減レシピ	応募フォーム各種	提案の扉

● クックパッド「消費者庁のキッチン」
食材を無駄にしないレシピを掲載



● 地方公共団体、民間、学生等の取組を紹介

地方公共団体と飲食店との協働

地方公共団体との取組として、
食べ残しを減らす飲食店数は、
全国で17,139店舗（2019年度）



〈おいしいふくい食べきり運動協力店
ステッカー（福井県）〉

大学生の取組

- 食品ロスの実態を調査し、若者向けの冊子の作成
- 災害時用備蓄食料や自宅に眠っている食品を有効活用した料理レシピの考案



〈災害時用備蓄食料を活用した料理レシピ考案の取組
（愛知学院大学）〉

食品ロス削減特設サイト

主に消費者や家庭向けにより分かりやすく情報を発信するため、**食品ロス削減特設サイト「めざせ！食品ロス・ゼロ」**を開設。食品ロスの問題、外食時・家庭での食品ロスを減らすために、消費者としてできる食品ロス削減の取組やコツ・工夫を発信。

【常設ページ】

- トップページ
(新着情報・政府広報オンラインとの連携 等)
- 食品ロスとは何か
- 外食時の食べきり
- 家庭での食品ロス
- めざせ！食品ロスゼロ

【季節ものやキャンペーン等のトピック掲載】

- 食品ロスにしない備蓄のすすめ
- 恵方巻きの予約販売の活用
- 「新しい生活様式」での食品ロス削減の工夫など

消費者庁食品ロス削減特設サイト
めざせ！食品ロス・ゼロ
<https://www.no-foodloss.caa.go.jp/>



食品ロス削減推進大賞

消費者等に対し広く普及し、波及効果が期待できる、食品ロス削減の推進に資する取組を行った者に対して表彰を行うことにより、食品ロス削減の取組を広く国民運動として展開していくことを目的として、令和2年度から表彰を実施。

令和2年度食品ロス削減推進大賞 受賞者

内閣府特命担当大臣（消費者及び食品安全）賞

株式会社 ハローズ

持続可能なフードバンクへの商品提供の仕組み（ハローズモデル）の開発と同業各社及びメーカーへの幅広い普及活動で飛躍的に提供商品を拡大

消費者庁長官賞

○井出留美

日本初の「食品ロス削減推進法」成立に協力 2008年から13年間継続し多くの「日本初」を生んできた食品ロスのエバンジェリスト（伝道師）としての広報・啓発活動

○株式会社クラdash

日本初・最大級の社会貢献型フードシェアリングプラットフォーム「KURADASHI」

○チーム「それいいね!!」

タイトル：「食べてほしーる。」

キャッチコピー：賞味期限、短い方買ったが良いいっちゃう

ほかに、審査委員長賞（5点）を授与



暮らしの中で実践できる食品ロス削減の取組を始めたきっかけはなんでしたか？
皆さんがやってみようと思う、人に勧めてみようと思う、
そんな「食品ロス削減」の活動を募集しています。
地方公共団体、企業、団体、学生など様々な方からの応募をお待ちしています。

About	食品ロス削減推進大賞とは？	Entry	応募方法
<p>食品ロス削減の推進に資する取組を実施している者であって、消費者等に対し広く普及し、波及効果が期待できる活動を行った者に対して表彰を行うことにより、食品ロス削減の取組を広く国民運動として展開していくことを目的として、表彰を行います。</p> <p>応募いただいた内容は、「食品ロス削減推進大賞選定会議」において、選考基準に基づき、審査を行います。</p>		<p>専用の応募用書様式をダウンロードし、必要事項を記入の上、添付書類を添えて、以下消費者庁特設サイト「めどせ」食品ロス・ゼロ」内の食品ロス削減推進大賞応募フォームからお申込みください。</p> <p>◆メールアドレス登録後から24時間以内にアクセスし、お申込みいただく必要があります。様式用紙と必要書類をご用意の上、お申込みください。</p> <p>https://www.mof.go.jp/promotion_award.html</p>	

令和3年度応募ページ



主催 消費者庁
後援 農林水産省、経済省、文部科学省、厚生労働省、環境省



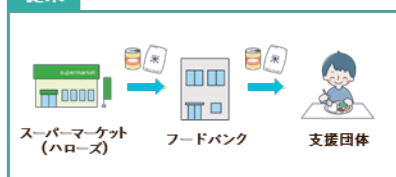
令和2年度
食品ロス削減推進大賞
内閣府特命担当大臣(消費者及び食品安全)賞

 株式会社ハローズ

持続可能な商品提供の仕組み(ハローズモデル)の開発と
同業他社及びメーカーへの幅広い普及活動で取組を飛躍的に拡大

ハローズモデルとは？

従来



事業者等から寄付された食品をフードバンクに集めて、福祉団体等の支援団体へ配布

ハローズモデル



フードバンクを介さず、支援団体が直接近隣の店舗に引取りに行く

比較的早く傷んでしまう商品の提供が可能に！



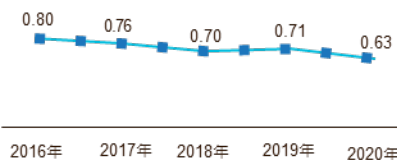
パート社員の一言



食べられる商品を廃棄するのはもったいない！

→ この一言をきっかけにフードバンクへの提供を開始(2015年)翌年、「ハローズモデル」を開発

ハローズにおける食品廃棄率(%)



支援の輪を広げ提供量拡大へ

ハローズモデルは、全国的に広がりつつあります。岡山県内では、(株)ハローズの呼びかけにより、80%近くのスーパーがハローズモデルを活用しています。さらに、スーパー以外(一部のドラッグストア・食品問屋等)でも、提供が開始されています。



また、全国のスーパーで更に食品ロス削減を推進するため、日本スーパーマーケット協会も、ハローズモデルでの提供を各社に呼びかけています。

▲岡山県内のスーパーマーケットでのハローズモデル活用率

お話を伺いました

全国のスーパーに向けて

全国のスーパーマーケットの皆様にも、ぜひ、「ハローズモデル」をご活用いただければと思います。「ハローズモデル」では、スーパーマーケット側は経費がほとんど掛かりません。食品ロスが大幅に削減され、提供する子ども食堂等には数多くの商品が届きます。ぜひ、ご協力をお願いします。



(商品ライン本部 商品管理室長 太田 光一 氏)

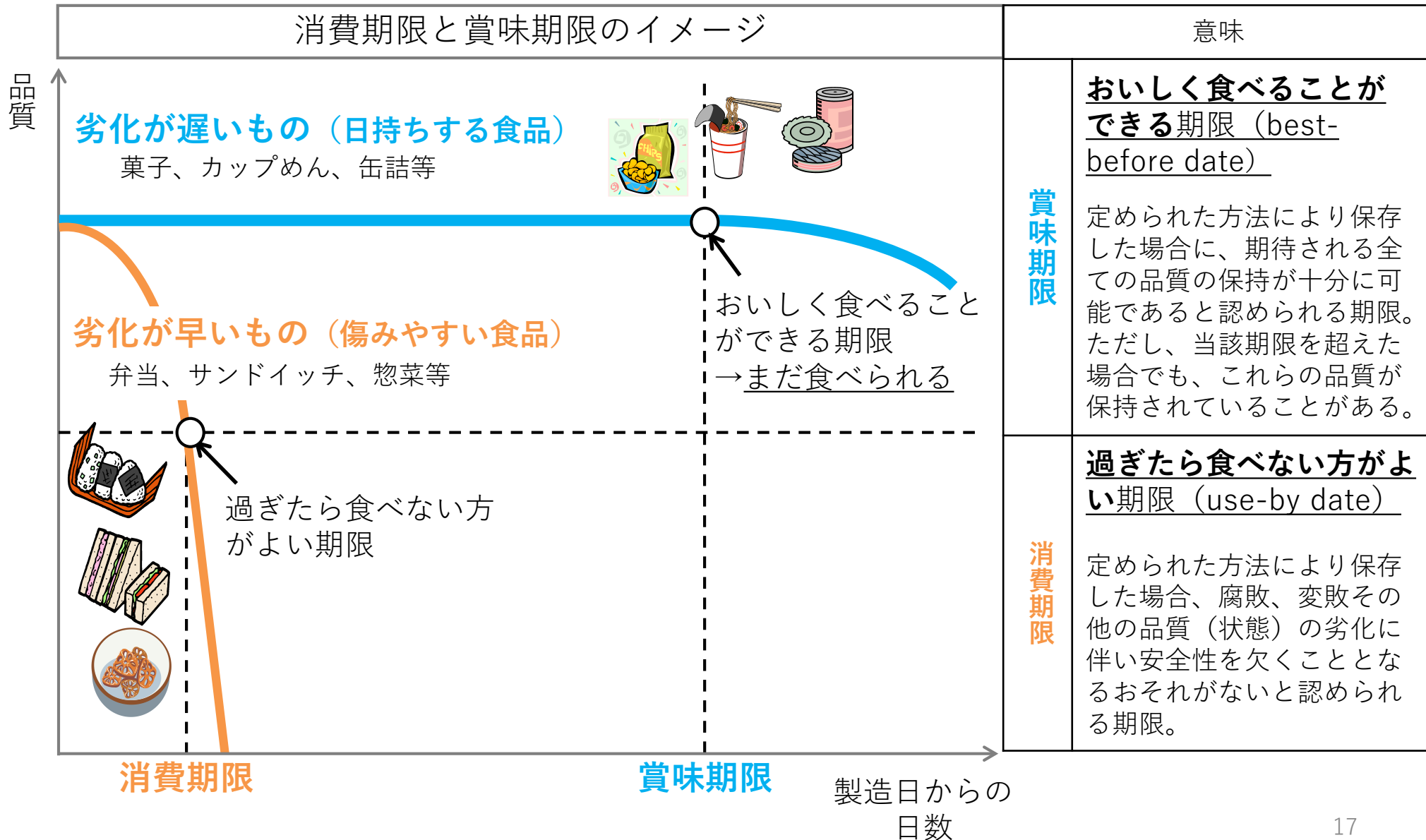
株式会社ハローズ

1958年設立。

岡山県を中心に中国・四国地方にて食料品スーパーマーケットを展開し、地域の食に貢献。



賞味期限と消費期限



「賞味期限」の愛称・通称の募集



作品募集

「賞味期限」の愛称・通称コンテスト 私の食品ロス削減スローガン & フォトコンテスト

応募締切
2020 年
9 月 11 日
(金)



食べられるのに捨てられてしまう食品を減らしましょう。

「おいしい期限」
近所のスーパーで、賞味期限はおいしい期間であることをお知らせしてみよう

「賞味期限はおいしい期間」
賞味期限は、食品の会社が日持ちする食品に示した期間で、すぐには風味が悪くならないことを表現してみました。

#消費者庁 @caa_nofoodloss

近所のレストランで、食べられると思って注文したけど、意外と多かった。お店の方に尋ねたら、持ち帰り用バックをくれました。

「シュリンプ・パテの救出劇」
テイクアウトボックス #消費者庁フォトコン @caa_nofoodloss

豆腐のセカンドハーベストを実施中。

「新しい命、元気に育て、食品ロス削減」
#消費者庁フォトコン @caa_nofoodloss



※これは、応募イメージです。

消費者庁食品ロス削減 Twitter アカウント
@caa_nofoodloss をフォローして、必要事項を入力の上、投稿（応募）してください。
詳しくは、画面を見てください。

消費者庁 食品ロス  検索

コンテスト作品募集！

「賞味期限」の愛称・通称コンテスト」及び「私の食品ロス削減スローガン&フォトコンテスト」

食品ロス削減のための広報・啓発活動の一環として、「賞味期限」の正しい理解を促進する観点から、「賞味期限」の愛称・通称コンテストとして、「賞味期限」の愛称・通称の応募を行います。

また、「私の食品ロス削減スローガン&フォトコンテスト」において、食品ロス削減への独自の取組やエピソードに基づいて作成した食品ロス削減に向けた自らのスローガン（宣言）と、その想いを表現した写真を募集します。

部門 A 「賞味期限」の愛称・通称コンテスト

（応募例）

「賞味期限はおいしい期間」①

賞味期限は食品の会社が日持ちする食品に示した期間で、すぐに風味が悪くならないことを表現してみました。②

#消費者庁賞味期限 ③
#caa_nofoodloss ④

「賞味期限」は、おしく食べることができる期間です。定められた方法により保存した場合は、期待される全ての品質の保持が十分に可能であると認められる期間です。ただし、当該期限を超えた場合でも、これらの食品が保持されることがあります。

「賞味期限の愛称・通称」としてふさわしい名称

■応募資格 日本国内に在住の方

■応募方法 Twitter で、消費者庁食品ロス削減アカウントをフォローのうえ、

① 応募者が考える「賞味期限」の愛称・通称としてふさわしい名称

② ③の理由・エピソード又は普及させるアイデア

③ ハッシュタグ #消費者庁賞味期限

④ タグ @caa_nofoodloss

を投稿してください。

■表彰 優秀作品に対し、
「内閣府等担当大臣（消費者及び食品安全）賞」1点
「消費者庁長官賞」1点。

部門 B 私の食品ロス削減スローガン&フォトコンテスト

（応募例）

近所のレストランで、食べられると思って注文したけど、意外と多かった。お店の方に尋ねたら、持ち帰り用バックをくれました。①

「シュリンプ・パテの救出劇」
テイクアウトボックス ②

#消費者庁フォトコン ③
#caa_nofoodloss ④

食品ロス削減に取り組むスローガン（宣言）とその写真

■応募資格 日本国内に在住の方

■応募方法 Twitter で、消費者庁食品ロス削減アカウントをフォローのうえ、

① 投稿する画像について、食品ロス削減につながる取組又はエピソード

② 私の食品ロス削減の「スローガン（宣言）」

③ ハッシュタグ #消費者庁フォトコン

④ タグ @caa_nofoodloss

⑤ 私の食品ロス削減の「スローガン（宣言）」に当てる写真

を投稿してください。

■表彰 優秀作品に対し、
「内閣府等担当大臣（消費者及び食品安全）賞」1点
「消費者庁長官賞」1点。



詳細は、募集要領を確認してください。



賞味期限は「おいしいめやす」

期限表示の意味を正しく理解していただくため、コンテストで選ばれた愛称「おいしいめやす」を活用し、事業者の協力を得て普及啓発キャンペーン（ポスター掲示、レジ画面への提示等）を実施。



「てまえどり」の普及啓発

買い物のとき、買ってすぐ食べるものであれば、商品棚の手前にある商品など、販売期限の迫った商品を積極的に選ぶこと。

販売期限が過ぎて廃棄されることによる食品ロスを削減する効果が期待される。

6月1日から、コンビニエンスストア4社（セブン-イレブン、ファミリーマート、ミニストップ、ローソン）にて啓発キャンペーンを実施中



すぐに食べるなら、
手前をえらぶ。

『てまえどり』
にご協力ください。

 食品ロス
ゼロをめざして
ろすのん

みんなで目指そう、地球にやさしいお買い物。

 消費者庁  農林水産省  環境省

国の災害用備蓄食品の有効活用について（申合せ）

国の災害用備蓄食品について、食品ロス削減及び生活困窮者支援等の観点から有効に活用するため、各府省庁において申合せ。

1. 入替えにより、供用の必要がないものとして、不用決定を行った災害用備蓄食品については、必要な場合を除き、原則フードバンク団体等へ提供

(1) 各省庁等における売払手続の実績を勘案し、賞味期限までの期間が概ね2か月以内の食品については、売り払うことができないものとして、提供の対象とする。

(2) 賞味期限までの期間が概ね2か月超の食品については、適正な予定価格を設定し、オープンカウンター方式等により売払手続を行い、売り払うことができなかったものを提供の対象とする。

(3) 賞味期限が近づいている場合や、賞味期限を過ぎたものを提供しようとする場合には、例えば、安心して食べきる目安となる期限の情報提供を行うなど、円滑な提供に向けて配慮する。

2. 災害用備蓄食品の提供に関する情報については、各府省庁においてwebサイトに掲載のうえ、農林水産省においてポータルサイトを設け、各府省庁の情報を取りまとめて公表。

3. まずは中央府省庁（外局を含み、東京都に所在する官署に限る。）で実施することとし、これら以外の地方支分部局、施設等機関等の官署についても可能なところから対応するなど、順次取組を拡大。

申合せ事項については、各府省庁の取組状況等を踏まえ、今後も必要に応じ見直し。

【申合せ参加府省庁】

内閣官房、内閣法制局、復興庁、内閣府、宮内庁、公正取引委員会、警察庁、金融庁、消費者庁、総務省、法務省、外務省、財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、防衛省

※フードバンク団体等には、フードバンク団体のほか、子ども食堂など、生活困窮者等に対し食料・食事の提供を行う団体を含む。

特設ページ「「新しい生活様式」での食品ロス削減の工夫」



消費者庁 ホーム 冷蔵庫の片付け 食品ロス? 外食時の食べきり 家庭の食品ロス めざせ! 食品ロスゼロ 文字サイズ: 標準 大

「新しい生活様式」での食品ロス削減の工夫

ホーム / 「新しい生活様式」での食品ロス削減の工夫

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言は解除されましたが、「三つの密」の回避や「人と人との距離の確保」など日常の行動での配慮が引き続き求められます。こういった状況の中、お店は営業時間の短縮や座席数の削減等を行う一方、引き続き、テイクアウトやデリバリー、インターネット販売を行うなど販売方法を工夫し、食品の有効活用に取り組んでいます。また、インターネット販売サービスを行う事業者の中には、生産、収穫されたが行き場を失った新鮮でおいしい農水産物や加工食品を食品ロスにしないために販売しているサイトもあります。こういったサービスを利用して、引き続き感染に気をつけながら、食品ロスの削減につながる行動をしてみませんか。

続きを見る

新型コロナウイルスの感染対策として、自宅で過ごす機会が増えてきていることから、感染対策、食品ロス削減の観点で消費者向けに、地方公共団体や事業者の取組など情報を発信。

- 2020年5月1日 消費者庁食品ロス削減特設サイト内にページ「緊急事態宣言下での食品ロス削減の工夫」として新設。
- 2020年5月26日 緊急事態宣言の解除により、ページのタイトルを「「新しい生活様式」での食品ロス削減の工夫」に変更し、継続中。

目次

- ◆ 飲食店のテイクアウト販売を活用
- ◆ 引取り手がなく捨てられそうな農産物などを販売するインターネットサイトの活用
- ◆ 購入した食品を使いきる工夫
- ◆ 関連リンクについて

(情報・リンク等は、随時更新)

消費者庁食品ロス削減特設サイト
「「新しい生活様式」での食品ロス削減の工夫」

